

平成 29 年 2 月 20 日

(一社) 日本ジュニアヨットクラブ連盟
国際委員会 佐藤公俊委員長・青山義弘理事

海外セーリング研修報告書 (パース、オーストラリア)

研修先： Perth, Australia (Royal Perth Yacht Club, Dinghy Mini Series 2017)
研修期間： 平成 29 年 2 月 1 日(水)~8 日(水)
参加選手： 東京都ユースセーリングチーム 村野龍典君、坂井友里愛君
藤沢市青少年セーリングクラブ 和田真里奈君、増本拓君
葉山町セーリング協会 田原隼宇君、青山若生君
引率者： JJYU 国際委員会 佐藤委員長、青山理事



2 月 1 日 20:00 に羽田空港国際線ターミナルシンガポール航空カウンター前に全員集合し、22:50 発 SQ635 でシンガポール経由パース、オーストラリアへ向け出発。

2 月 2 日 12:55 パース国際空港に到着。約 15 時間の長旅でした。

空港に Royal Perth Yacht Club (RPYC) の Ray さん、Michael さんが迎えに来て頂き RPYC へ。遅い昼食をとりクラブを案内して頂いた後、選手 6 名はホストファミリーと対面しそれぞれの家庭へ向いました。我々 2 名は Ray さんの車で RPYC から 10 分程の Mounts Bay Waters Apartment Hotel へ。



2 月 3 日練習日。暑さも午前中ゆっくりフィッティング。不備などがあるとクラブの方が親切に対応して頂いた。昼食は大きなソーセージがのったホットドッグで、BBQ ソース・トマトソースをかけて選手皆が完食しました。

13 時からいよいよ待ちに待った AUS でのセーリング。小さな砂浜から浮かべ、狭く浅いところから上手に出艇。沖に行くにつれて風が徐々に強くなりましたが最大で 15 ノット平均 11 ノット。OP のレース海面で練習した後、レーザーはレーザーのレース海面で帆走し 15 時に着艇。海面としては OP の方が波は大きく風もシフティでした。夕方 RPYC 元会長 Tony さん所有の 40ft クルーザーでトワイライトセーリング。ジブセールだけで 7 ノットのスピードとヒールで選手たちは大はしゃぎでした。その後は RPYC 主催のバイキングで楽しくディナーを頂き、選手はホストファミリーと各家庭へ。



2 月 4 日レース初日。8:30 ブリーフィング、9:45 の予告信号でしたが、朝は南の風が弱くて安定せず最初のスタートは 1 時間後になりました。南西の風でマークセッティングされると 12~15 ノットの風が安定しはじめ、OP・レーザー共に 3 レースが行われました。13 時過ぎまで飲み物以外何もとれなかったのが選手にとっては少しハードでした。昼食後、午後は 1 レースが実施され、その頃には 20 ノットを超える風となり OP 4 年生組はヘトヘトでしたが自力で帰着しました。レーザーについては OP のサポートに追われ、2 レース目のスタートと 2 レグまでしか見られませんでした。スタートは決まっていたのですがダウンウィンドで苦戦していました。本日は OP・レーザー共に 4 レース消化。夕方、選手はホストファミリーと各家庭へ。



レース参加艇数：130 艇（全 8 艇種）

A 海面：レーザー4.7 19 艇、ラジアル 12 艇、スタンダード 8 艇
420 7 艇、29er 11 艇

B 海面：OP ゴールド 26 艇、OP シルバー 21 艇、Open Bic 26 艇

2月5日レース最終日。9:30の予告信号、朝は東の風が弱く1レース目は6~10ノット位、その後徐々に弱くなり2~7ノットと軽風でのレースとなりました。右左にシフトが大きく不規則で風の強弱もあり、きちんとシフトがわかる選手とそうでない選手で大きな差がつくレースでした。OPは過酷にも13時以降の帰着となる4レース実施。昼食後は無風になるまで風が落ちるなか1レースを実施しました。

レーザーについてはゴムボートが不足という事で午前中にシンガポールのコーチボートに同乗したため、サポートが出来なくなってしまいました。

本日OPは5レース、レーザーは3レース消化。OPの選手は結果よりも、暑い中休憩もないままでよく頑張ったレースを完走したと思います。帰着後、艇の片付け返却もほとんど自分達できれいにやり遂げ閉会式に参加しました。

閉会式ではJJYUを代表して佐藤委員長が謝意を表し記念品を贈呈。日本選手は持参したお土産をオーストラリア選手へ手渡し、最後まで交流を楽しんでいました。

レース結果は下記で見られます。

<http://www.rpyc.com.au/component/content/article/2-page/541-2017-argonaut-mini-series>

2月6日観光とショッピング。各々ホストファミリーに送って頂きフリーマントル駅に10時集合。フリーマントルはアメリカズカップでオーストラリアが初めてアメリカを下しカップを持ち帰った地で、そこにRPLYC Fremantle Annexがあります。RPLYC Andrewさんに紹介されたハーバーマスターClamさんの案内でハーバーを視察。その後、本年末にフリーマントルで開催される国際420級世界選手権のホストクラブであるFremantle Sailing Clubを視察。とてもきれいな環境にある立派なクラブでした。

昼食で美味しいシーフードを食べた後、フリーマントルマリタイムミュージアムを見学。そこにはアメリカズカップ優勝艇「オーストラリアII」も展示されていました。午後3時半に電車でパースへ戻り、市内中心地でショッピングを楽しみました。午後6時に選手はホストファミリーと各家庭へ。

2月7日午前10時、Rayさん、Michaelさんの車で空港へ送って頂きました。14:15発SQ226で羽田へ向け出発。2月8日朝6:20羽田空港にシンガポール経由で到着。お迎えに来て頂いたご家族に選手6名を引き渡し、無事、一週間の研修を終了しました。

フリーマントル



閉会式

